日印通商協定

附屬議定書案文

當局談の形式で發表=

をおきたことを示すものとして各業 はさらに一般繊鋼業に對して とゝもに今後の成行は注目さらに一般繊鋼業に對して とゝもに今後の成行は注目されてある

1000

我皇室に對し恐懼すべき文字

に、はからずもわが皇室に動した。 はからずもわが皇室に動した。 はからずもわが皇室に動した。 をれ、わが在留官民の均しく激 終するところとなつてゐる。 當局ではこれに對し有效適切

大々的消費節約運動

伍堂商相各省に呼びか

中である 中である 中である 中である

總領事館對策考慮 込が行はれはじめ、憂慮されてるた國債消化の前途にやゝ

大いの知されてもでは、 大いの知さ大銀行の三分半園 情に對する買氣機頭は単に國 ででこの既注目に優する 果でこの既注目に優する

印紙税令適用の

年末寛三郎氏(ハルビン民
村本のでは、「一郎では、「一郎では、「一郎では、「一郎では、「一郎では、「一郎では、「一郎では、「一郎では、「一郎では、「一郎では、「一郎では、「一郎では、「一郎できれば、

12

そんなこさまで、言ひ出し

枝の言ふこさだ。何を言ひた。ほんさだらうか?この

わかつたものではない

塚善吉氏(官吏)同向陽

『あなた、偽善者みたいだわ を所の方へ、聞えよごばか を所の方へ、聞えよごばか

たは、ちッさも、それ、御存 じないのネー 以天は、思はず息をのんだ ー―後子が、自分を探して

て食つたの、ホ、、、あ

び来れでも〈五〉 正枝は、寒みにたざれて ーーこの二人の家庭を、思

枝の笑ひ繋が、中途から打消

(百十六)

俊子さ、僕さ、何の交渉が……

二太

急に離れなんていふの、あんなしたからって、 ではまの机の前に、しざけなく ではないがあって、

おまたし言ってないわ。後 子さんでは、あなたを探して が関係さまで、Hしこ



上右衛門氏 (同庶務課

十四日穀湯崗子

で、自分の膝の上に取り上げた。 管ふさ、引つたくったそれ を、自分の膝の上に取り上げ

これが氣になって、つぶや

氏〈吉輟總務處長〉 郎氏(同和自動車

ながら、さすがに許をふせるで見たものは五線紙の製譜だ

なご少しもない筈です。

大村副總裁

疑義を協議

あす公會堂で座談會開く

明日 水京 横關と事務連絡のため十六日 横關と事務連絡のため十六日

銀保有公債 行に三分半利國債 | つゝあつたが、一兩日來日銀 | 半年の間便く結ばれて怪龍の | 「東京國通」市中大銀行の日 | に對する買氣は最近多少動き | 流 氷始まる | 二分半利債の大口取引 | 松花江の

防空施設促進を圖り

我財界に援助懇請

星野、植田、高木氏等活躍

安田大汽社長 大連安田大汽社長 大連

往來

の日

上海で不祥事件を起し でやつては甚だ困るので 正枝が現に、今、それを、言さうださしか思はれない。 さうださしか思はれない。

醞醸ではあるまいか、季節的 乗せて飛ばすとい<u>」</u> 一度連中を引つ張つて で、あれほで、まじめに審っ で、あれほで、まじめに審っ を、あれほで、まじめに審っ

忠夫の聲が、まるで複製し 間にふるへながち立ちすくん こ、キミ子は、夢所の板の一一あいいな鬼だつた!? そこにある下島をはって行った。一こんな事を聞いて、も おない! 思ひつめて、キミ子は の暗な氣もちになるさ、 そこにある下駄をはくさ、裏

確に、この禁語だった。 して?さう、今でもあなた、「まあ!あの俊子さん、ごう「まあ!あの俊子さん、ごう もあなれ

そは密所で破ぐみながる聞い 像子さんさまだ交称をもつて 忠夫は、

ないとしてあたのか? ・ 本思議な、今は追つても返っていといてないという。 ないと手が、急に忠夫の方 ないとしいである。 このもれた。 に忠夫の方なに忠夫の方など。 ないとは一様、ふこ だまってしまった。 押されたやうに、



ちゃんさ特つてるわ。それか ちゃんさ特つてるわ。それか ちゃんさけつてるわ。それか

マ んだまゝ、甲をすましてみた ー一俊子を良人との交渉? ーーそれに、この正枝さい ふ人が、良人の寫真を今でも かんが、良人の寫真を今でも かんが、良人の寫真を今でも して、キミ子は豪所の板の間 まつ暗な器を、胸いつばい まつ暗な器を、胸いつばい

洗張染色專門

今回、洗張並に染色の優秀を期する爲京都本場。

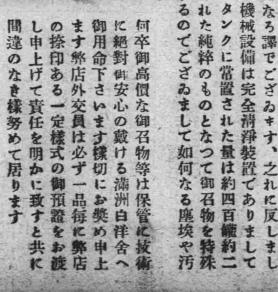
技術員招聘

工の専門技術員二名を招聘致しました、高級品を御安心

してお任せ下さいませ

年完全なるクリ 店出來上ります 「出來上ります」 「記述へる樣に綺麗 備こそは全満一を誇る最も新しく且 どれ丈美しく永く御もた クリーニングをなさいまして等多物の御保存には此の際完整シューバー類を始めコート 完全なるものでござゐまして生地を 完全なるクリ シへを リーニングをなさいましておしまを物の御保存には此の際完全なるへの季節となりました毛皮の御襟への季節となりました毛皮の御襟 ニング

れも完全に綺麗になって了います





या या या

製弘一氏(日本ビクター) 製造太郎氏 (局) 同 製量維氏 (前線) 同

夏直氏(イルス商會)

氏(大陸科學院)同

6

樂譜

滿 洲 自 洋

ル お 必 は 御 召 物 と と 数 す こ と ング設

舍

察學校訪問記二

治法撤廢を前に

この準備あり

準備全く整ひあすからは

入れ、子供 の 塗替えば 民唯 他準備に忙殺されてゐたが大 母 とと ことゝなつた、今年は時差撤 とと ことゝなつた、今年は時差撤 とと ことゝなつた、今年は時差撤 と ことゝなつた、今年は時差撤 に から午後十一時といふことに み定した、なほ園内にては草 がら午後十一時といふことに み定した、なほ園内にては草 化其他植物の折損工作物を破 、園料二錢頂戴 禁を犯したも に於て適當處置 持して入園やねこと▲屋外に自轉車乗り入れぬこと▲屋外に自轉車乗り入れぬこと▲座へに自轉車乗

で のは公園事務所 のは公園事務所

等資速天外の大秘術に近代科學化の秘術、甲賀流の金剛力、眞剣白双渡り、粘着力應用の實驗、甲賀流の金剛力、眞剣白双渡り(書書揮亳)、伊賀流水火が、大田の大教術、田野流の金剛力、長利の大教術に近代科 慶後における民會の處置その他を新京記念公會堂において聯合

他について討議する

植樹節天長節に あの進展に寄興する目 るの進展に寄興する目 る、貿易組合は市公署 の後援のもとに は、1000年 1000年 100 本市開催

、浮かれ足。に

と言ふ春のトピックニュースと言ふ春のトピックニュース の交通訓練デーは

天野子工 人院在診隨意

して協和會、學童服等の大量 版工廠を設け優秀和兒を養成 版工廠を設け優秀和兒を養成

日本橋通り洋服商石留洋行主石留氏は先散來滿都クリーニング商會新設準備中の所今般諸設備も完備したので十六日 満都クリー ニン

本洋紙出張所移轉

技怪の人超

さ十九年の修練

十五日より十七日まで

忍術も神霊術も インチキに非ず 新京署で實演の結果證明

十四日午後八時ごろ白菊町

位のレースの襟のついた黒ビを入號線バスの中にこれはどき入號線バスの中にこれないボッ

十一時より新京署裏のテニストー時より新京署裏のテニストをなり十五日午前

春光 白日下に行はれ

く、下は忍術で石炭箱を掌で上は神靈術によつて馬車をひ 事な に母を求めて「 」と泣き叫ぶのを乗り合せた 新京放送局某氏が不憐に思つ だめすかし、さて考へついた のが電波を利用のスピード親 での名案、早速放送局にか

持ちあげるところ

村まさを?さんとか申して一はます、お父さんの名は田します、お父さんの名は田します、お父さんの名は田します。お父さんの名は田します。お父さんの名は田します。お父さんの名は田します。 もの、三十分も經たない内に 親子抱擁の劇的シーン、つい さつきまで大粒の涙に母を求めたきよ子さんは「お、好か つた (」と類ずりするお母 さんの腕に抱かれて歸つて行 人出の難踏する

神風號所要時間 九十四時間十七分五十六秒 月七、八兩日新京日鴻軍人會に於て開催することに決定 能長約二百名で此の機會に滿 飲では大いに滿洲の宣傳につ とめるべく準備中である

滿鐵四平街以北驛區長會議は

用し時事富賞なども併せて 大か物足りない氣がした。 だか物足りない氣がした。 だか物足りない氣がした。

む今晩の献立は日系の方は白



全滿居留民會聯合會 來る廿日開催

訪日

宣韶記念

内市商會で

・オた 蒸気が仕かけてゐる金網に引 等奇想天外の大秘術に近代科 でいる とがわかり「いや 1000 でいっという。こればね」と果して神 でいってるた、これが終つて島路 両方許可することになつた でないと でであかり物理的作用で誰がやつ 學を して十二時半終 端間にバスを臨時運行、増設 り特別である どうもこれはね」と果して神 でに滿更インチキでもないと で駆けられる補別國の植樹節 日本であってるた、これが終つて島路 両方許可することになつた スをはかる模様である からないと スをはかる模様である から からないと スをはかる模様である からないと からない グ通會社では來る二十日南

鄉関之助

れは新案

フヂオで親探し

放送局員の奇智奏功

で特に最近著しく多く がで特に最近著しく多く が特に最近著しく多く 河野医院

日頃より註文を引受け操業すの他の設備も整つたので十五

新京西公園内賣店の入札は十一名の一部方保長、小石澤公費主任、地方保長、小石澤公費主任、公費關係者立會の上慎重開票の結果

西公園賣店

上棟式に 東本願寺別院

日本圖書館大會

六月七、八一

別市北安路に經費五十萬圓を以つて 破成を急ぐ大伽藍東本 以つて 破成を急ぐ大伽藍東本 原守満州別院の上棟式を機會に日本佛教協會々長、元大谷 意義な行事を催 左の如く新京 東本願寺の山邊

八會館で

三、四名(八十世)

亞

商

轉した、電話は三・六〇七九は永樂町三丁目廿七番地に移 輸組店員講習會

轉した電話二・二一〇二番 8 務所移轉 拓務省出張員事

す(十六日)

本七・三〇國民耿語と管絃樂 ・二五俚語「山中節」(金澤) 米八外▲八・三五歌灣「宇治 外八曲」(東京)歌澤寅小 大外重兵廟」(東京) 東京)津 (東京)歌澤寅小 東京)津



に當て人と引合ふ リスの下式釜鳴法 二、白双の下

下四駄斗

大連と講演行脚に上る豫定で 更にベルビン、奉天、北平、 東にベルビン、奉天、北平、

が行はれ、午後五時閉會した

商業、敷島高女生

元氣で歸る 一部變更

の及普

先般當地公演に際し を対する。 をがする。 をがしる。 をがし。 をがし。 をがし。 をがし。 をがし。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 を

中と御同様の御引金を紙上より御願ひ申一日限り臨時公演仕ります一日限り臨時公演仕ります。下に再び國都公演する事になりました下に再び國都公演する事になりました。

り御願ひ申し

皆様の絶大なる御聲援を厚く

本八重子

キャピト

學校内地修學旅行二ケ團體は 車で校長・諸先生、生徒、父 車で校長・諸先生、生徒、父 兄多數の出迎へをうけ一同無

大八萬圓の費用を投じて市公 被服の註文製造 が新築の南嶺救濟院にカ 階級を對象ととする授産場 河野省二 語の懸賞募集を發表したとこう連目應募殺到し、すでに下百餘通に上つてゐるが、中には都々逸と標語をゴッチャにして奇浪天外のものもあり係 に制限を加へず一語又は敷語ス三訓又は三個條の規定を特

植村中將に 六月判決 懲役二年

「東京國通」元浩兵廠 『官職 備役陸軍中將権村東彦(五七) にからまる履職事件は、三月 八日勾坂檢察官から懲役三年 (追懺金四萬五千七十圓)の 求刑があり、爾來裁判長林大

環病院身體檢查證持
会來社相成度 四月二十日 四月二十日 四月二十日

宅住求 新京交通株式會社總務課 日當り

二〇六館

實票部交書 22 書 以 課上 位

(佐久間)

6知お店開

一、煉瓦造 平家建四棟

が南く萬端整ひ開店の運びとなりました が南く萬端整ひ開店の運びとなりました

日 當水大五貨

第(3)五九八七

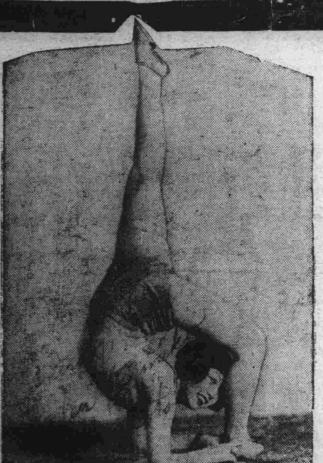
第一徵兵保險會社

外務に經驗有る者を望む ・手腕家は監督に採用す ・手腕家は監督に採用す

女店員募集

號十百千五第





春演藝史を飾つ 大衆興行目指し アクロバチック普及のため



高藝術團四月十六

H

! 技秘的才天! 熱情と美

0

る御聲援を御願ひ申

1舞亂の群女美ふ紛もに花 .名餘十二行一師踊舞の爛絢春の櫻 ルーテクカのスンダ!春のズヤジミり踊ミ唄 代久喜野天淵 よれさ醉陶にムラグロブの山澤盛

四 料大 月十 金衆 金 來 貳 圓 なき 解 放



題

支那を繞る

ようとしてゐる時、英國は一を政治的に特殊地帶たらしめを政治的に特殊地帶たらしめ

列國の抗爭

▽……尖鋭化する日英の對立

支那はその半種民地的地位を 直源との為に多年列閥の抗争 近における列閥の支那を続る で登暖したか、それがわが國 の對滿洲、北支における積極

うち約十一萬越は内地よりの 日下東上中の南日浦島 学務 は日鐵との間に之が折極中で あるが、右網材の輸入方法に おいても現在浦洲に支祉を有 する日銭指定四社を通じ之が 組給を行ふ際には、總販賣格 に或る程度の制限を附する事 となるべく協議中と言はれる

二月末業務統計 金融合作社 管貸未資 合 利雜 財 金金人產 計 金定

資金 元 でんち、二三九、一七 たんち、二三九、 たんち、二三九、 へ六

不該 二千八百

●旅順王, 油水源地郷筒所其

取めてしまつた、投資的活動 においても一九三三年には全 額五千萬ドルの棉麥借駄によ つて國民政府に恩を賣り、支 を開拓 した中國航空公司をその手中 科線X児 内科病性外 ニカー・七〇四-(2) 門

時開札

▲東京株式(短期)

2.55 8. * 坂夏陣の豫告篇 4.2 9.50

月を批いて 105: 6.1 トヤンドウの復讐 |3.60| 7.10 忍術の實施 1.00 8.5 L=030 1050 401 **恰萬弗卡**手箱

●三碧の人 頻長に構へて無理をせざれば相當に進展す こと丁と王が吉 こと丁と王が吉

富るが如き日なり

か所もあり注意

鋼材暴騰抑壓か 日満關係當局間で折衝中

の | 務統計左の如し | 10M | 1

は十四日午後六時上野精奏軒(東京関通)日隣中央協會で ーチャ氏、南洋に

ゴム靴工場設 蘭印政感でも斯業を

落札 七千八百十路組盤工事

一十三日午前十

特命 七

特命 二

承洪燕街附近雨水管布設工事→ ● 國來建設局

土建ニュー

丁大臣歡迎

なしてをり、わが國の重要権 出品たる對陽印ゴム製品の受 ける脅威は相當沖割なものが

加夏太商店

1「「監督」 音景量 111型部1 最高

堂 よ 日五十 9 莫大なる權利金を投じ遂に本映畵 五年から今年にかけて の作品の評判をする場合にも、それが「貧夏の夜の夢」以上のものであれ超特作映畵「眞夏の夜の夢」と世評は一致してゐた。 超弩級大 の上映權 惟獲得 絶對に 一定 前 の 製 作 費 右に述べた豪華な顔振れの他に、ウーナーは山の映畵の製作者ラインハルトに製作者である。 で、此の代本の大・変を受賞し、六萬六千呎平方の大・セットを建てたりして合計二百萬弗を突破する製作者を支を完成した。 それだけに此の作品の出來築へた。 それだけに此の作品の出來築へた。 それだけに此の作品の出來築へた。 では今や本邦最大の電は今や本邦最大の お見落 12 3 2 江中悦吉 川野ち 井 禮ほや 東 雄るん康 階 作原の氏六文子職雄の家作アモーュ代現 少るなにんをち侵潰主て企を化器映の氏 ちルプムテの本日人一の中名百七集祭女 描活のんや

はて後半戦に入るが十四日を 電 一をつて定員を突破すること三 で 一をに破り、出足が遅れたにも で 一をに破り、出足が遅れたにも で 一をに破り、出足が遅れたにも で 一をに破り、出足が遅れたにも

【頁二十刊夕朝紙本】 印編發 制報行 話 新 特普郵 介勇忠〇五社

辛うじて逃走したのであつた | 守礼(数本)は耀丸除けとな | けつゝあり、中國捕虜となり、残餘の二十名は | 一切の災難を免かれ、黄色の | 府より使嗾され運の所で一齊射撃を受け首魁以 | 白羊数の功徳に關し数徒は彌 | 彈丸は絕對に命中・となく肉迫し、双方十米內外 | 捕虜の自白する所によれば、 り、黄色の紙片を思となく肉迫し、双方十米內外 | 捕虜の自白する所によれば、 り、黄色の紙片を思

京

資金を受いた。

飛げるかゝる下級邪教信者を 利用し議洲國の治安攪亂を企 職しつゝあるが、かゝを耀手 に躍らさるゝ事なき機圏民は 族解放先鋒隊

宋松偕一郎(民新) 星崎剛(中新)

北平市に於ける各大學によって組織されてゐる民族解放先 群盤の諸につき本月初旬を期 遺し、古蹟を考究するとの名 目のもとに各方面と連絡せん としつふある、既に本月四日 出設せるものは清華大學八名

新軍事

豫算に伴ふ

打合せを終へた。

今村參謀副長等昨夜歸京

では主として新軍事へには五日から

△栃木一區

河合長一郎

立候補屆出

下時多數幕僚出迎裡を帮びて上京中の今年に伴ふ打合せ等の 中往訪の記 式に参列したが、満洲でも一ちり且種々の指示を受けた 機算に件ぶ諸種の打合せが

【東京國通】去る三月の定期 情命仰付られた 音流中野は、十五日左の如く 清水中將待命

で で で 神 将 前 原 謙 治氏は 十五日 明 待 に が 、近く 養備

辭令

外務省辭台(十

等書記官(四等) 「等書記官(四等) 「等書記官(四等)

卅日來京豫定

阪谷希一氏說有力化 八長に

△高知三區 △山口一區 △滋賀區 鯰江彰 (國新) 矢野清一郎(昭

北海道二區 淺川浩 (民前) 立候補辭退

張に備へ

電務収締役=長島正隆、未電務収締役=長島正隆、未電社の重役次の通り

為創立總會開催

子會社成る

十六日午前十時發はとで歸任 の豫定である 石村所長離京

▲全商品ー割引より三割引まで▼

是非一度御來店の上御高覽願ひます

の養本金は二千萬 四、株式は一般に公募せず大 の養本金は二千萬 四、株式は一般に公募せず大 の養本金は二千萬 四、株式は一般に公募せず大

▲ 中尾徳蔵氏(土木請負)同
本 中尾徳蔵氏(土木請負)同
本 中村八助氏(貿易商)同
本 中村八助氏(産昌洋行)同
本 中尾徳蔵氏(土木請負)同

和洋酒、飲料水其他至美五幸商會卸部個煮、漬物、海產乾物至美五幸商會卸部





め、今速急に引拔きか行はれるのは相當の痛手であり、阪 各氏自身の意向も聴かねばな らず、今のところ實現するか をす。 から大いに氏の手腕に期待したばかりの現地に於てこ るところ大なるも

中野氏視察へ

田村文書課長

岡本業務課長

尾藤理事歸京

絡船の都合で同日午後十時着兵は十五日午後六時二十分着

西澤局長着任

春物特別大賣出し

舶來化 粧品色々 豊富 取揃巴里最新流行婦人洋裝生地

御相談に應じ申候の一個智業者各位には特に勉強

農工機器 衛生工事 ◎今般事務所を掲記の通り移轉仕候 事務所移轉御通知 カナへ商會出張所 事務所 意語(3)三五三六 新京入船町三ノー 三七五四

順大医院 院長

(-)

(日 本せたのみで増減なぐ、さす 合計八一七、立候補辭退ご ルで は、大三、関 はれ、十五日より十八日ま は政府與黨の看板を公然と掲 での選擧公報締切をもつて大 けてある昭和會がこム數日來 に突進するのではないかと思 がある、こゝに興味のある現象に突進するのではないかと思 がある、こゝに興味のある現象に突進するのではないかと思 がある、全國立候補者届出状 にで突進するのではないかと思 がある、全國立候補者届出状 していさゝか龍頭蛇尾の修み してやゝ其差を縮めはしたが 昭和三六、社入六三、関 にで、大一名のみで増減なぐ、さす 合計八一七、立候補辭退二 ル

治外法權撤廢を前に

ルーズヴェルト大統領は十四

、兩日に亘つて國際

意を行ひ、彼いて各所長および日系典獄佐から現地における狀況報告をなし、午後四時においては近く改正賞施される監獄法の説明がなされると、公・、従來一般會計の下にあった監獄の業算を不年度よのった監獄の業算を不年度より特別會計に移管し囚人に對

店支配人 店支配人 店支配人 直機 直機

ボスはひた走りに走り大阪の 販やかな町を過ぎ豪肚な取引 所の支陽に横づけになりました、取引員達の躍起となつて をなぐつたり手を翻へしたり をなぐつたり手を翻へしたり する変が一種異様なものに映り するで狂人としか見えません かするで狂人としか見えません かするで狂人としか見えません かりました。商業の時間に一寸 でながったり手を翻へしたり な変が一種異様なものに映り な変が一種異様なものに映り

大会に従事する職工の質面目な姿!!僕等は思はず感心致しました、斯の如き手に依つてはられた通貨を使用し得る日本の地に生を受けた事を今更本の地に生を受けた事を今更な必要としました。

ボラックの骨弱な鳥かも知れ 致します。脚が改築中なので 致します。脚が改築中なので

東中より案内線の案内する言 販市には全部で一六三程の機 がかムつてゐるそうです、よ

一、國民生活の安定

春日濃・大阪

新京商業旅行記 (主)

高服のて居ります。造幣局到 ・ 本かし思はず欲しいなあー等 ・ を眺めた時は皆も一寸眼を輝く を眺めた時は皆も一寸眼を輝く を眺めた時は皆も一寸眼を輝く

即 あつたろうか、太やかなる残しといふ、昔はどの様に立派であるが、かの大坂夏の陣が肥ゆれ るがまゝに 薬繁つて居たもれ のであるが、かの大坂夏の陣といふ、昔はどの様に立派であるたろうか、太やかなる残し

ともあれ矢は既に弦を離れてゐる。政府は信を天下に間 なと言ひ、候補者は現に是非 を関民に想へてゐるのである 政府、政業そして各個の議員 が選舉の結果を重んずべきこ

第十七條、第八百七十六條第一項 第十七條、第八百七十六條第一項 第十七條、第八百七十六條第一項 一切いては工場所在地力と 一切いては工場所在地の 一型法部大臣は前項の規定に 一型法院とする 一型法院とする 一型法院とする 一型法院の管轄 でもの一區法院の管轄 でもの一區法院の管轄 でもの一區法院の管轄 でもの一區法院とする でもの一面。 でもの一面。 でもの一面。 でもの一面。 でもの一面。 でもの一面。 でもの一面。 でもの。 でもの。 できまする できまする できまする。 できまなる。 できまなる。 できまなる。 できなる。 できななる。 できななる。 できななる。 できななる。 できななる。 できななる。 できななな。 できななな。 できななななななななななななななななななななななななななな

裡に午後四時大會の幕を閉ぢ大黨萬歳の聽衆の爆發的喊聲

場抵押

總選擧戦のトップ

大黨關東

結果となつて現はれるかは、 まだその強測を下すには時期 が早過ぎるであらう。ただ從 水の雨大政業が多数を占める といふ大勢は動きそうにも思 はれない。林首相等は時局に はれない。林首相等は時局に はれない。林首相等は時局に はれない。林首相等は時局に はれない。 は前日で來ることを望んであ るのであるが、議員各個の質 に於いて急激な絶化が見られ るとも考へられない。

反满抗日

一、物質離費の抑制と民衆負 整の軽減 一、重要産業の國營 一、重要産業の國營 一、重要産業の國營

大、十四年度で校舍の新築お 降川崎、大阪兩埠頭の擴張を よび設備を終る筈だが航空技 電施すること」なり、まづ本 大勝八郎 (日本) 「大勝一年」 「大勝一年」 「大勝一年」 「大勝一年」 「大勝一年」 「大勝一年」 「大勝一年」 「大勝一年」 「大阪兩埠頭の岸壁」 「大勝八年」 「大阪兩埠頭の岸壁」 「大勝八年」 「大阪兩埠頭の岸壁」 「大勝八年」 「大阪兩埠頭の岸壁」 「大勝一年」 「大阪兩埠頭の岸壁」 「大勝一年」 「大阪兩埠頭の岸壁」 「大勝一年」 「大阪兩埠頭の岸壁」 「大勝一年」 「大阪兩埠頭の岸壁」 「大阪兩埠頭の岸壁」 「大阪兩埠頭の岸壁」 「大阪兩埠頭の岸壁」 「大阪兩埠頭の岸壁」 「大阪兩埠頭の岸壁」 「大阪兩埠頭の岸壁」 「大勝一年」 「大阪兩埠頭の岸壁」 「大阪兩埠頭の岸壁」 「大阪兩埠頭の岸壁」 「大阪兩埠頭の岸壁」 「大阪兩埠頭の岸壁」 「大阪兩埠頭の岸壁」 「大阪兩埠頭の岸壁」 「大阪雨埠頭の岸壁」 「大阪雨埠」 「大阪雨埠頭の岸壁」 「大阪雨埠」 「大阪雨車」 「大阪市車」 「大阪市車」 「大阪雨車」 「大阪市車」 「大阪市車車」 「大阪市車」 「大阪市車」 「大阪市車」 「大阪市車」 「大阪市車車」

金生石以下七十投降

現在 生石を育領とし朝鮮革命軍と 2000年の五と改訂し 2000年の 2000年の

生常局は必死の防疫陣を張つは各種無疫流行の兆あり、衛陽春來とともに哈爾濱市内に

立具

哈、帰濱に

+

奉哈間臨時列車 事は十四日から手小荷物の取 事は十四日から手小荷物の取

五一一

存じます。

たから不相變御贔負を頂きとう

してタイムサービスを始めまし

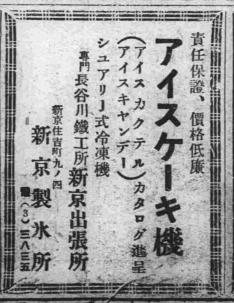
日満員御禮の御努めサービスと

毎度有難ふ御座ゐます。連日満

每 ラ 9 H 正 午 I



名题 小さな三疊の部屋が小さな三疊の部屋が 名魁 名题 名题 多题 白鷹、 島水 ちまやさ 島燕塘 御屋 朱水 菊正宗 たと あって





物產紹介派遣員 經濟懇話會領誕生 けふ第

滿員

右ス新京三 新京新京三 響京五 笠

寄 引 (短期) 株式相場

二九弗一六分三

ジカ

右三月三月三

も哀れである。

手形交換高(十五日)

第 明 出來高 出來高 出來高 出來高

晚早長二 三生十世

き月月日日のけのののの天

鮮魚小賣相場

と信じます ッ 御好評下さる 後

五 b 時

ス開始



合流匪擊破

江省公署主催

軟式庭球聯盟

速迅切一扱収

東一條通り四六 京土地建物會社

扱利便貸賃話電

話即時金融

は十二日午後一時より五時 職において中俠、助國、五省 職において中俠、助國、五省 では、これを潰走せ

日本高工視察團
「齊々哈爾國通」離打省公署
では省内商工薬團體有力者を
もつてする日本商工視路團を
もつでする日本商工視路團を
の案内で來る廿一日齊々哈爾
の案内で來る廿一日齊々哈爾

▲理事長 宇山財務處長(市公署)、同班縣(地方)、同理事佐々木(滿鐵)、同班縣(地方)、同盛寶(電業)、同山口(餐廳)、國友(中級)

役員の種別員數及職

嗣西大學戰

能球軍勝つ

街ヤイグ

TEL 35458

(E)

車を増發車を増發列

△討伐匪數累計 過 軍

管下各警察署で嚴重取調中で ーマン等々を對照とする惡質 る模様である悪傷高利貸については關東局 來かよわい女給、貧乏サラリ のに對しては既是の一個別別のでは、例如の「一」の「一」の「一」の「一」の「一」の

大連署でも活動開始

金融業者数名を本場に呼出し 最重取調べてゐるが、この悪 質高利貸の跋扈は社會を害する ものとして今後も引続き譲々 ものとして今後も引続き譲々

△死傷者數

治國治國治國治安 安康軍隊軍隊四 二二八〇 七八〇七二八〇

塰

縣旗境係争問題の

局面打開へ

神尾總務廳長先づ實地視祭

「本天國通」鐵道總局では五 するにしたがつて漸次世人か て五龍背と同様であり湧出量でありが確せられた湯山 一部とならが確せられた湯山 一部とならが確せられた湯山 一部落民の湯治場として放棄さ 上を得ることは容易なるもの で第地調 一番の温泉敷の建設計畫をなし 部落民の湯治場として放棄さ 上を得ることは容易なるもの で第地調 一番の温泉敷の建設計畫をなし 部落民の湯治場として放棄さ 上を得ることは容易なるもの で第地調 一番大阪通」 と豫想されてゐるので實地調 一番大阪通」 と豫想されてゐるので實地調 一番天國通」 銭道總局では五 するにしたがつて漸次世人か て五龍背と同様であり湧出量 こと、なり、總局旅客課お

一つの温泉郷の建設計畫をなして、第一で、一つ温泉郷の建設計畫をなして、龍背の地域東方十粁の東湯ならびに沙域東方十粁の東湯ならびに沙水こと、なり、總局旅客課はは來る二十一日から一週間の機定で現地調査に漕手すること、なつた、湯山城の東湯はとして繁築

總局自動車路線

奇怪である

聯側の

態度は頗る

るに五龍背、安東山が結果は期待され

れてゐると

湯山城

近に放送局を設け

から試験放送を開始

揃ゥ三廣背春

豊富に取揃い

へて

レインコート

洋服は

居が

ります

¥25.00 均一

特に小寸法もの

注文はずれ

高級

品

御寸法は身體に合せます

世界博覧會の中心日本ことになつた披

源間假營業

柳河間卅二キロ七と合して開通區間は梅河ロー三源浦間七十四キロ六に延長せられ、いよいよ産業開發鐵道としての機能を發揮することゝなつた機能を發揮することゝなつた時に伴ひ、梅河ロー三源浦間列車運轉時間は

全面的に擴大

)四月七日

デ

談義

時=四月七日午後四時より 所=上野名倉屋旅館 人=十四名、居残り生 司…皆さん伸び行く東京のデ バートの心臓に觸れまし た事を御遠慮なくどうぞ

…一般に値段が安いわね。 落ちる線な感じがしたわ 落ちる線な感じがしたわ 上りさんを發揮しちやつ すべりさうになつて、お すべりさうになつて、お が明な事、それから床が がりさうになって、お ·店員さんが綺麗で氣がひ 何か。

敷島高女旅行記(主) 〇…感じがいよわ、サービスがいょんだもの、買ふ人がいょんだもの、買ふ人 〇…本常にじれつたいものね 〇…三越大好きよ、薬的だつ たわ、一階つたらまるで 動場の襟な豪勢さなのだ 〇…私、前倒だから、 〇…あそこも床は確かにすべ

〇…設備が免に角いふわね、 の御挟拶が氣に入つたわ の御挟拶が氣に入つたわ たわ、東京の子の幸福を

〇…女の店員がよいわ、やりの一覧場の通り路が廣いね。〇…賣場の通り路が廣いねの一切にないまれた。 女の店員がよいわ、やさな那屋の裝飾がいゝわねお郷屋の裝飾がいゝわねお郷屋の装飾がいゝわね れのか

〇…さらかも知れなわね。 **宇相手がなかつたからじ** 體が残つち

〇…サービスに大分相違がある…新京のデバートに對して

〇…さらね。 〇…さらね。 〇…さらね。 比の時もらそろく夕食の膳 はの女中さんによつて出始め 〇…先に拂はせられるのはど

皆様御苦勞様でございま

世鬼

を 高設備についてはマ がよバリで完成に近

介最大の が放送局

の椅子は西暦一二七四年製といふ由緒あるもので、ふだんは博物館に陳列されてゐるかち物好きな見物人が看視の目を盗んではそのイニシャアルなんぞをコット・ナイフできなんではそのイニシャアル 長

記すニュカ 支店丸長 西丸原 甲②三五八

國產唯一品





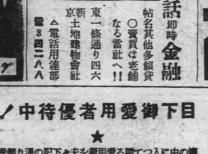
世界的發明 0

今年

B

九·伊藤





必飾り通の配下々夫を證用愛る唐てつ人に中の機 五ばらな雑度針一、枚三ぱらな雑度針三は農用要 すましたいとローで以を枚十ぱらな観度針字、枚

カン協商、小協商を形成して あるが、今度これら五ヶ國で 共通に適用する郵便切手が愛 共通に適用する郵便切手が愛 するにといった。 意匠 は何れも同じで唯中の学が五 で 関大々異るといった ごであ ガイアは夫々パルコ、ユ

尚本冷凍機の使用方法等一切懇切に御指導申上げます

滿洲一手販賣元 发版市長谷

川鐵工所

日の丸ケーキ發賣一二一谷

新京東三條通り十六番地(記念会

放送局を行ふことになつた放送局はパリ世界博覧館の中心に位するため、世界各國からに位するため、世界各國からとなららが、フランス學界でとなららが、フランス學界でとなららが、フランス學界でとなける技術の進步 亡に近し 靈 虑 同胡南安北··京新

本機の特徴

一、簡單な仕組にして婦女子でも容易に使用

の出

一廻轉に二百本を製造し此の時間約四分間製品能力一日八千本の多數量なる事製品が尤も長時間解水せぬ事

國産最優良シャア

リ冷凍機

確質に儲るアイスケート

用

冷凍機大販賣

警部を帶同して青島に向つた 大丸」で大照署高等主任菅沼 のため十四日正午出帆の「奉 のため十四日正午出帆の「奉 は支那、臺灣各方面観察

出前迅速 慢。 相生 ば焼 電る二八七四

現が待望されてゐる

最大の動物

鹽澤警備課長

(隣際疾憲)四0二路耀光

五龍背を中

洲

第一の

溫泉鄉建設

總局調査に着手

はのかと思ふと左にあらず、 ものかと思ふと左にあらず、 を都分ナイフで切りきざまれ

轉々と煩悶する恐るべきモヒ中毒症! 苦痛 苦惱一 鬱々! 道徳の破壊

モヒ中毒の如き原因一定せざるものに單味薬物を用ふるも がなき場合の少なからざること又は其等治療剤に習慣にな がでありませう。 所でありませう。 アさい

最新治療劑

直で効く

鈴木梅太郎博士。完散 稻垣乙丙博士。創 の荣養増進にも最適 姙産婦の保健、

頭痛に順服

電金 0

子供の虫歯は

春先に

痛み易い

に及んであない機な時には、 歯のまはり、又は歯の中に溜ってあたり、狭まつてあるものを構枝で軽く取ります。 り微温場にして、東い重曹水をやは なくょらせるか、含嗽させます。 これで一時的に痛みはとまり ます。虫歯が更に深く神經まで で及んである様な時にもやは り微温の重曹水できない。

マ……春先になると、乳歯をます。子供の虫歯が痛んで来ます。子供の虫歯は、大人と遠つて神鐸が歯の割合に大きいので、急場のお手賞をなさる時によく御往意下さる事で

方と、軟いの

すが、色さへ合へば餘り、敢いのがいゝ方とがあ

佐ひ方としては倡墨ほど引き 方を變へられませんが、唇が 好えてゐないのに、赤い口紅 を用ひるのは、餐成出来ませ

いやな句のない、刺戟の少いのを使へばいるのです。顔色が、色の悪い方は、なるべくが、色の悪い方は、なるべくが、色の悪い方は、なるべくが、色の悪い方は、なるべくが、色の悪い方は、なるべく

(イン 裏床へ入つて世分が長も普通の型で朝限を (イン 裏床へ入って世分が最も普通の型で朝限を (イン 裏床へ入って世分が最も普通の型で朝限を (イン 裏床へ入って世分が最もです。 (イン 裏床へ入って世分がです。 (イン 裏床へ入って世分かです。 (イン 裏床へ入って世分かです。)

漫連 画載

[37]

S

(3)

山田高水沼泉

大明神はなかなか面白い

疲勞に依つて

(四)

一番結構なのです。殊にリス りソ灌膓は陽浦の或る種のも のを綏和する働きがあり、且 の出た便に依り、又灌腸して で出るか出ないかに依つて 診斷にも役立つて一擧兩得で

三・四〇 經濟市況 (東京)
四・〇〇 ニュース (鮮語) (解語) (RR) (RR

二、一、

曲國風の

三。〇〇 經濟市

九 (東京)

一〇・〇〇ピアノ獨奏(大海)

氣象通報、

京無

1.00 經濟市

米京、新京) (連、新京)

を 近〇 年

0.图0

七•三○ 漱 送 別 始

田び田 常男

七〇〇龍

本村 公 本村 公 新京) 本村 公 本村 公 本村 公 本村 公 本

九•三〇時事解說 金 大工調、金 大工調、金

たな病氣の時にと ましたり、腹を揉 なく却つて非常に なく知つて非常に なく知っと微温の

なのです。殊にリス と微温の瀑布をした と微温の瀑布をした と微温の瀑布をした

理獻立

何故人間が眠るかといふことがあります。 化咲く春(?)だのに 頭の疲勞なら睡眠第 眠い?懶 中福は血液の中に新陳代謝の 原があることが明かで血液中 の臭素が少くなると眼がさめ 多くなると眠る事實を指摘し てゐます。

睡眠は頭腦の疲れを恢復するのが真の目的で、そのためには一時間半、或は二時間あれば十分であるのですが、四肢が更になつてきます。ですか、四肢の原がまでも恢復するのには、七時間の睡眠で十分であって、八時間、九時間の睡眠で十分であった。 ですかい 一時間の睡眠ですが、四肢の変ないわけです。 睡眠のります。

> 六•二五 腦 大•110 1

ドモの

三、ソナタ (ロ) 別 (イン) 別 (カン) 別 北瀬の

北瀬の時間を発見している。

新京放送局開局記念の夕

腹痛、例へば二時間も三時はあれがい」とか此の薬が利きます。などとの言葉に惑けます。などとの言葉に惑けます。などとの言葉に惑けるれて子供の病氣手當の適當

春眠いのは、人間が活動的にであること、生物學的に覺醒期であること、生物學的に覺醒期であること、生物學的に覺醒期する型と眠氣を健す型と二つなり、とに角纖嚢は血管を變すが、とに角纖嚢は血管を變力なく、或る時は多く、或る時は多く、或る時は多く、或る時は多く、或る場所に述べたやうなために、最初に述べたやうなために、最初に述べたやうなために、最初に述べたやうなっために、最初に述べたやうなっために、最初に述べたやうなっために、最初に述べたやうなっためです。

大間が活動すれば自然エネル 大間が活動すれば自然エネル イーは消耗しますが、此の場 で、その分解産物として乳酸 で、その分解産物として乳酸 し、それが身體の内にたまつ し、それが身間の内にたまつ

腦の睡眠中樞

ふ の番組

八七七〇四一〇五五

| 10.00 経済市況(東京) | 10.00 家庭講座 | 10.00 家庭講座 | 10.10 料理献立 | 10.10 家庭メモ | 10.10 家庭メモ

十六日(金曜日) (M・Y・O・Y) がからあの日の かの言葉 おからさら なかつたの なかったの なかったの ネエゆるしてね ネエゆるしてね なかぬ蟲さへ 身をこがすいのちまでもと 思つたわいのちまでもと 思つたわいのちまでもと 思つたわれのあの言葉 ネエゆるしてね

だたからもに

もりぢゃ なかのたの 一、 0,

三味線

福太郎

件奏CY

赤城の唄

ネエゆるしてね

馴染の戀香さんが歌ふ (後七・五〇)

介又は

者自用

新京日日

新聞社放送演響新人募集係御中職募致し度規定により履修書へ

の他の紹

安とする種目には應募者にとは一切これを認めず目身に限る、第三者 そのに

一、應募者氏名は發表せず、合格者氏名の介又はこれに類することは一切これを割介又は伴奏者を取り決めること、こて合方又は伴奏者を取り決めること、こ合は應募資格を認めず。 高は應募資格を認めず 合格者に對しては新京放送局から放送を依賴す

發表す

新新京京

H

廿五

B

限り

合格者氏名のみを發表す

これのなき 應募者にお

一、浮いた浮いたと、濱町河岸に 神は 一、独みますまい、この世の 事は に掛花火に、似た命 燃えで散る間に舞臺が遡る まして女は、なほさらに まして女は、なほさらに まして女は、なほさらに まして女は、なほさらに かんなはかない、水の泡 かんなはかない、水の泡 かんなはかない、水の泡 がいちアならぬと、言ひつ

「、お山つ、じよくす月夜 えょうす月夜 えょうす月夜 えょうす月夜 えょうす月夜 だっせらき世はどうせっき世は おしり きゅう まっしい ご日月さまも でありや涙の でげのくし こくつげのくし

水

タかぜ

照らされて友は野末の石の れて遠き満洲の赤い夕陽に れて遠き満洲の赤い夕陽に

(宮属は藝香 編太郎)

新京より 木村公義

息至吉 店肉排一 (春至三二萬意)店本 遭 见

は追つて本紙々上に發表、鈴衡委 いった。 な過ぎ行けば。急ぐ心の程も を過ぎ行けば。急ぐ心の程も を過ぎ行けば。急ぐ心の程も を過ぎ行けば。急ぐ心の程も を過ぎ行けば。急ぐ心の程も を過ぎ行けば。急ぐ心の程も を過ぎ行けば。急ぐ心の程も を過ぎ行けば。



送演藝新人募集 を行ふことになつた、職業人、非職業人たるを間はず奮し、滿洲ラデオ文化向上に著々と成果を收め來つたが、今回更に 第三回放 見事な結實を飾らむことはまさに待望に堪へぬところであるって應募ありたく、これによる新人の擡頭進出 がこの割期的企ての下に 本社では新京放送局と協力、既に二国に亘り優れたる民間技藝家を 新聞社放送演藝新人募集係」宛提出のこと、應募者は應募種目並に曲目を明記し出演申 込書に 歳以上の男女なること 應募者は職業人、 非職業人たるを問はず年齢十六



子さん に

誤り易い病氣の手當 な症狀はありませんか

むし と普通に云はれて むづかりさへすれば直ぐ「む し」のせるでせうと云ふそれ です。標めて漠然としたもの ではありまずが、これは現今 の動物學的の動く虫とは全然 違ふ概念の「むし」でありま す。若い奥様などは「むし」 といふ事を無條件に 虫がわ いたものと考へなさるかもし れませんが、それは大學な間 の方なども往々混同して考へ も事がありますから注意しな

みの場合に非常に多い間違ひ と泣く事があります。腹の痛い と泣く事があります。腹の痛い

は、ヒマシ油を飲ませる事と 関を保む事とです。近頃は疫 類といふ病氣を怖がる癖があ つて、繋が出ると疫痢ではな いか、腹が痛い、それセマシ 連、と直ぐ考へを疫痢やその 手當の方へ持つて行きたがる かったが、腹痛には腸カタ ルや赤痢や 蟲などが原因す る場合も勿論ありますが、恐 ろしい蟲様突起炎や、脱陽や

春

0

も味の點からいつて、 味覺

ウドのお料理

をきれいに拭き、後に乾いた 監照綿で拭きます。大體御家 庭での御手富はこの位で、あ まりいぢらないことです。 マ……酷く痛がるからとて、 むやみに鎖痛剤を用ひるのは よくありません。歯の質を痛 から、それよりも、食 1. まつ新鮮なものを求めます。 この皮を剝いて適當の長さに 切り、モロミを添へて出しま す。酒に非常によくおいしい 上げませう。 上げませう。 上げませう。 日します。木の芽和へもよい 用します。木の芽和へもよい は といろ (の和へ物に使

ない。これを砂糖へ供するとき 体へ供するとき が、これを砂糖 中へウドを入れたミドリ和へ中へウドを入れたミドリ和へのであり、裏ごしにかけ味の一部をかけたものに入れ、その

つぎは皮

栄冠を獲得(貞間堂徹し矢に天 奏結城の決戦 **尼歿**す(元和二 人將來朝〈明治

一、春の紅ノ島 形式 山田流式歌講本意、手 事は生田流式替手段合せに ななる

内容 にノ島神社の亥年大祭 の扁徳園満をたたへた業曲 である

にとめくれば(地)河は晋シテン名も清き。水のまに

蓉山

セウィッキー

「第八」の新盤

ちえて 泣くとは たがれ ながれて

生遷とは書かねど山の新任地

春資産などなけれど兄として春資産などなけれど兄として

演習の上衣へ見せる春の汗

要の持へ場治の金の欲しい夜 引越しを進める様に家計簿 追 軸

國を出る時や

大塚まさ

八月目を乳房無性に張つて來(一風氏令息の死を悼む)

金でら かづいて

ガニ人連片 畫を見

大和運輸公司

市話電水 市話電水

待

むいてはならじ河原の珈藏

がへる かへると 生きてゐるかや

米のたわむれ

万日四

四月十七日 はるびん丸 四月十七日 はるびん丸 四月十七日 はるびん丸 四月十七日 はるびん丸 四月十七日 はるびん丸 四月十七日 まるとる丸 四月十七日 まるとる丸 四月十七日 まるとる丸 四月十七日 たこまれ 四月十七日 たこまれ 四月十七日 はたこまれ 四月十七日 たこまれ 四月十七日 にこまれ 四月十七日

日紀信洋

セイ子

調調辨

明治製菓代理店

コロムピア ピクター ポリドール

科圖院

日四番地

三泰公司

呼用命を御願ひ致しま

白米と木炭

十回十二(の)

ロシ

菓子

を開始致し 子類の小賣を開始致し

日本海汽船出代

訪即時配達

外慢性語病

五八八番

灸門

新京永県町三・一

昭和洋行

神婦淋胸經人

電話(3)六七二七番 ●專圖荷投所 ●專圖荷投所 一次運支店 22-1五 大阪商船垛式會社 本天事務所 23111-六 本天事務所 23111-六 □新潟直航 □新潟直航 □新潟直航 □新港設施工時 市津設後五時 市津設後五時 1・B = テ内蚯電新空

お

●切符發賣所 (午前十一時大連出机) 三角•鹿兒島•沖繩行 三角•鹿兒島•沖繩行 は野等想施りいた を表記される。 でといるでは、 を投げてといるでは、 を対した。 を対した。 でといるでは、 を対して、 をがしまして、 をがして、 をがしまして、 をがしまして、 をがしまして、 をがしまして、 をがしまして、 をがしまして、 をがして、 をがして、 をがして、 をがしまして、 をがして、 をがして をがして をがして、 をがして をがして をがして をがして をがして をがして 旅するまから、他れれない。 「はれれない。 をはれれない。 を記されない。 を記されない。 を記されない。 を記されない。 を記されない。 を記されない。 を記述がらい。 を記述がらい。 でいるがある。 零恶道中 真泣等馬き心泣

®マッサ·

富

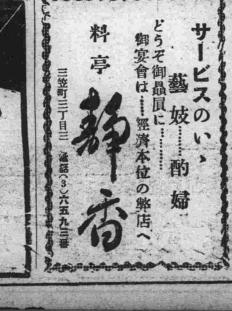
田

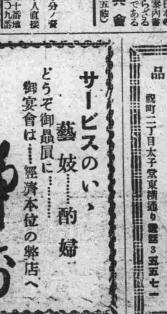


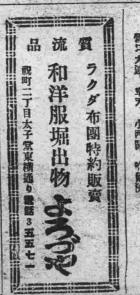












西田式二億萬圓消火器 西田式二億萬圓消火器 世界三周の印象 外務大臣有田八郎閣下序座領金二郎書留逸料廿一総大使出湯勝大閣下序葉附圖三葉總クロース湾金箱入大使出湯勝大閣下序葉附圖三葉總クロース湾金箱入大使出湯勝東舎木下乙市署



(可製物便郵種三第)

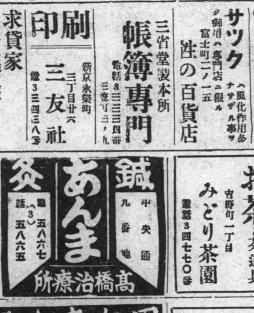
覺醒を希ふ

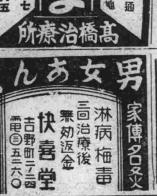
大風は本人の威容(?)を大風は本人の威容(?)を大風は本人の威容(?)を

日直うるさく受話器とり上げ 左 門 通學が一列になる道普請 人 位 子の巖島窓一杯に日本晴れ お化粧ののらぬ産毛をなでて 和京中央選

れ注射の跡でそれと知

帳簿專門 三元 ・田田田四番





と茶道具 四七七〇番 茶園 電話賣買最多個便 公益社 配(3)二三〇七巻

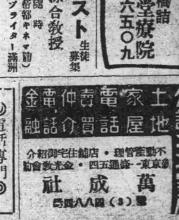
(2)四四五三番 0 電話金融聚金四利 即金御用立

大安

贾

3大田田〇福海商事

前易宿泊所



を圍む夜の話



金雷仲曹電家土公融話介質話屋地記 融話介質話屋地記 介紹與建雄時・理管庫外 始後於金・四四個峰・東京等 社成萬家 写用人人服(3)。第一屋

は

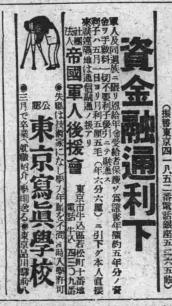
赤玉カフ

存 首 全 型 定 買 **建知愛**

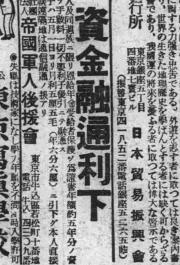
凍不對絕度O五下零

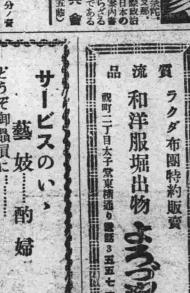
〇非硫酸・泡沫・不凍・强力





を三七七五(5)成五ノ二門 配入泉教 社 會 式 株 融 金 和 昭 七八七四載八街道大駅外覆簾吟店す











岡田式泡沫消火器 遊信省承認消火器



天長節祝賀會

三月中檢學率 中に於ける新京署管内

微力乍ら碎身

柴崎總領事代理着任

2上奏したところ 上奏したところ

皇帝陛下優渥

なる御言葉

野遊會の申込る

多いルと

機員 よれ光治、石黒仙大郎、西山 豊約三萬圓にて驛前より日本 信いれ つた、即ち日本橋通りの由緒 かれ つた、即ち日本橋通りの由緒 大野來の重要性を充分認識し 成して不夜城を現出し日本橋 たけん と将來の重要性を充分認識し 成して不夜城を現出し日本橋 はれる手段を講ぜず恒久的に充分 するものであり、遅くも今 間にれる手段を講ぜず恒久的に充分 するものである 中である なる施設をなす観點の下に経 するものである

常なるみ込で目下殿市

り小統約・萬四千挺、拳銃は り小統約・萬四千挺、拳銃は 四千六百挺を購入し近く彈藥 の準備つき次第實行されるも のと見られてゐる、而して男 子社員は一人當り一ヶ年小統 第四十發、女子社員は一人當 中一ヶ年拳銃彈約二十發を支 小 ふものであつて、これにより 本 本 も の で あ つ で これにより 本 で ま か で

日本橋通りの

街燈照明改裝

半島人物流捕る本年一月頃より市内各所に頻本年一月頃より市内各所に頻本年一月頃より市内各所に頻本年一月頃出り市内各所に頻高行警戒中、三笠町三丁日益體質店前路上に於て擧動不審の一半島人が現れたのを能何、取調べたところ言語を曖昧にして逃亡せんとしたので、大きに見て、

員動總へり守の後銃 男子には小銃、女子には拳銃

滴道炭礦に火災

が から 減緩福祉課では、過般來 から 減緩福祉課では、過般來 がら 減緩福祉課では、過般來 がら 減緩福祉課では、過般來 対下の日 系男子社員 軍事未教 育社員は小銃を女子社員 は拳

死傷者數名を出す

生命線確保に萬全

は社線沿線十六ケ所、 線三十五ケ所都合五十一ケ所 線三十五ケ所都合五十一ケ所 関線沿 に大正寺法要 後醍醐天皇忌辰 者の氏名は左の如ぐである へ滿炭社員 死亡者 菊池亮一、坂井清

恶

D

力

捕る

萬

員

頭彩摑んだ幸運のボーイ君

た奥地社員に一大福祉が高ら

『宿る

花輪癸子 【大連國通花輪癸子 【大連國通花輪癸子さんは、陣中で得た病験子さんは、陣中で得た病を内地で癒し十五日午後入港の「うらる丸」で懐しい滿洲を同って来た、新京老松町肥

九五

者が判明

二四四 一圓を投じて泰治

んの主

旅行團の報告會

だする

南嶺へ遠足 敷島高女生徒

植樹節の當日全校生徒

市内に確實なる保證人を要す身體强健にして奮闘家年

新京興安大路三三五

店員及配達人募集

年齡十七、八才數名

から挨拶 整旅行関は十四日無事歸校し 敷島高等女學校第五學年の修

長崎縣人會總會 配念公會堂にて總會を

せら知お店開

が漸く萬端整い開店の運び が漸く萬端整い開店の運び 転度皆々様の御氣に召す事 を度皆々様の御氣に召す事

ーピス

でん

連送業打合會

門清算會社に闘する業務上の以上時から記念公會堂にて通知京運送業組合では十五日午

西本願寺では十五、六兩日午西本願寺では十五、六兩日午

新規和

盜聽

會社員座談會

會職員と各特殊會社中堅祉員協和會首都本部では十五日午 カフェー松竹の

何配品に御進物に

別離十二年、

相呼ぶ魂

封書の中に

てゐる由







五四一八番

司

専門店清眼堂で

約

神各地特約店募集 印肉無用何千回も連續捺印出来る北京 中華民國總代理店 男女老人ヲ問ハズ副葉本業可 が入嬰(切手を鏡)御送附ヲ迄一希望者具本代(多鏡切手十七枚) 大連市春日町二十七番地

士萬年印判 印判界の大革命し 萬年印判現る

富

其他材料一式 電話三一三二九〇

第二三五四四六

元 吉野町二丁目二六番地 御願申上候不敢取謹告仕候 問今後とも何分の御引立の程伏: 町四丁目二

(佐久

し仕 て候

實業 123 部. 女 書 課 位 間

製菓所

宅住求

なりました

北票炭礦股份有限公司

公示第五號

サニューー 日解散致し候に付割公司に 対は、無に、より此段公告候也 であるかは康徳四年六月三十日逸に其の のるるかは康徳四年六月三十日逸に其の では、一日解散致し候に付割公司に

易者は、天眼鏡の下にその一等。

ふーむ、と リャア 大した 選券

「今の女だ!」

入れておいた筈の財布がないこ

手院だ。云はれるがまゝに右手をつたお館だが、目的の煎に選んだ

本の下へ手をやった。

勝つて行くのを辞つて、第つと縁

急いで聞った。

差し伸ばした。

云はれるま」にお解は左の手を

と解案にお気をつけなさいよ」

將來の側運はよろしい方ぢや。た

「左りのお手に依つても、矢張り

戦緩を持つた。」

髑、

組:

緣 (八) は、

「ありまずとも、さう違い先では

全林

杢

兵

事得

陸軍藥局方收載

(特來天地神明に誓って数心は起 を別本の下に切っと眩した。 渡つと此の欄子を見てゐたお ありません。近いうちに大金の智

病内

服新斃

つけいで聞きますわり

ずつと前へお進みな

ある。 に、先別の財布が確かに置されて 見憂の隅に置かれてある場本の下 をお除は見述さなかった。 か。その他に何か… 取り替へる絶好の機會

変って、此の不徳な場者に一徳吹かつたものか、鷸然、黒龍の幣に い今の場合、暫に腹は替へられない。急場の打開が出来な 間へ心の底に封じ込んだ密 ず這入りますよ。第一あなたは大 それがどうかと思ひまして……」 それもちゃんと手相に現はれてる 「おほと」さうで解心いませら 「いや、関心配はありません、

「なる程まく的中りますわ、大会 入る相が現はれてわますよ お解は流石に驚いた。 淋病內服第





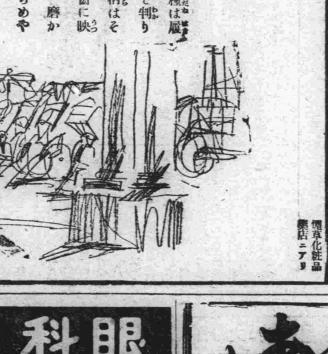
(興趣な、自身の此の風景を見た

く云ふその顔





大福旅館の大サ













木 餘 社會式注-結木業の味 進根維省内容